

## 社会・生態システムの統合化による自然資本・生態系サービスの予測評価(S-15)について

社会・生態システムの統合化による自然資本・生態系サービスの予測評価(PANCES)は、社会・生態システムの統合モデルの構築により、将来の自然資本・生態系サービス(自然の恵み)及びそれらの自然的・社会経済的な価値の予測・評価を行い、いくつかのシナリオの提示を通して、豊かな自然共生社会のあるべき姿を示すことを目的としている。また、研究を通じて科学と政策の連携を強化する方策を探り、国内外の生物多様性政策や国際的枠組みへの貢献を目指している<sup>1</sup>。

プロジェクトの構成：

- ・ **テーマ 1**
- ・ 「社会・生態システムの統合モデルの構築と科学・政策インターフェースの強化」
- ・ 複数のシナリオのもとでの人口分布や土地利用の変化等による、自然資本・生態系サービスの将来予測・評価が可能となるような統合モデルを構築、さらに、アジア地域にも視野を広げ、この統合モデルの成果を用いて科学と政策の連携(インターフェイス)の強化につなげる
- ・ **テーマ 2**
- ・ 「陸域における自然資本・生態系サービスがテーマ2 もたらす自然的価値の予測評価」
- ・ 陸域での自然資本・生態系サービス(農産物や木材等の供給サービス、水源涵養や気候調整等の調整サービス、景観形成や観光等の文化的サービス等)の定量化・地理情報化を行い、その変化要因の分析、予測・評価手法を開発する
- ・ **テーマ 3**
- ・ 「海域における自然資本・生態系サービスがもたらす自然的価値の予測評価」
- ・ 海域での自然資本・生態系サービス(海産物等の供給サービス、波浪の低減や水質浄化等の調整サービス、景観形成や観光等の文化的サービス等)の定量化・地理情報化を行い、その変化要因の分析、予測・評価手法を開発する
- ・ **テーマ 4**
- ・ 「自然資本・生態系サービスの社会経済的価値の予測評価と自然資本の重層的ガバナンス」
- ・ 陸域・海域の自然資本・生態系サービスの社会経済的価値の予測評価の方法を開発し、それらを将来的に維持・向上させるための施策のあり方を検討する。さらに、さまざまな立場のステークホルダー(利害関係者)が協調して、自然資本を守り育て、包括的福利の向上に資する重層的ガバナンス(国・企業・地方・個人の連携方策)のあり方を検討する。

各テーマのポリシーブリーフ：<http://pances.net/top/2020/01/06/policyb/>

<sup>1</sup> 出典:PANCES パンフレット [http://pances.net/top/wp-content/uploads/2016/12/PANCES\\_Leaflet\\_2016\\_JPN.pdf](http://pances.net/top/wp-content/uploads/2016/12/PANCES_Leaflet_2016_JPN.pdf)